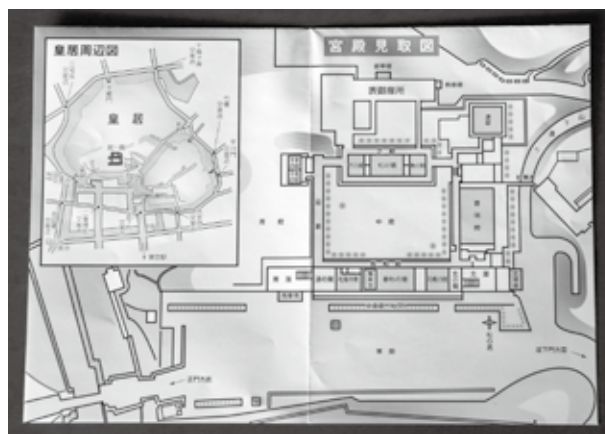


くぐります。ここからは写真撮影は禁止となり、二重橋と呼ばれている正門鉄橋を渡り、伏見櫓を左手に見上げながら中門をくぐります。宮殿東庭に進むと長和殿が現れ、私たちは表玄関南車寄せで降車し長和殿に入りました。宮殿の中では一番大きな建物で、廊下の長さだけでも100メートルあるそうです。春秋の間に案内され、午前9時30分より30分間雅楽を供覧させていただきました。そこには黒柳徹子さんが車椅子でお見えでしたし、平成の時代に活躍された浅田真央さんや北島康介さんなど多くのメダリストや、高須クリニックの院長先生の紋付き袴姿も人目を引いていました。雅楽は男性20人ほどで編成され、日本古来の演奏の音色もあって、時代絵巻の世界へ私たちを誘ってくださいました。



▲ 宮殿見取図

午前10時10分に茶会の会場である豊明殿への案内があり、400人を超す方々が一斉に部屋を移動するのですが、何ら混乱もしないことで、この建物がいかに大きいかがお分かりいただけると思います。100メートルの廊下は中庭に面し、中庭は四方を長和殿、豊明殿、正殿、回廊に囲まれており、那智の白い砂利が敷き詰められています。南西隅に大きな白梅が一本、北東隅には大きな紅梅が一本植えられ、見事なほどに枝を伸ばし、満開の花で迎えてくれました。梅は阿久比町の花でもあり、とてもうれしく思いました。(本町もアグピアホール車寄せロータリー内に、紅白の梅の木をホール完成時に植えてあります。まだ小さいですが…)

豊明殿は、宮殿の中では一棟一室の一番大きな部屋です。天井にはクリスタル製のシャンデリアが30基ほど輝き、床は手織り絨通が敷き詰められていました。ウエルカムドリンクとしてシャンパンやお茶などが配られ、あいさつや雑談をしながら陛下のご入場を待ちました。係から注意事項が述べられますが、順列は決まっておらず全くの自由でしたので、少しでも陛下のお近くへの気持ちで前へ前へと詰め寄るものですから、最前列の方がうまく整列できず困っていました。私は園遊会の時に皇室の方々とは最前列で対面させていただいたので、今回は皆さんにお譲りし、後ろで控えさせていただきます。

午前10時30分に、一間はあろうかと思う左袖口の大きな襖が「ごろごろ」と音を立てて開けられ、モーニング姿の天皇陛下とロングドレス姿の皇后陛下がお出ましになり、後に続かれて皇太子殿下をはじめ各皇族が入場されました。参列者代表の知事があいさつをされ、その後に天皇陛下からお言葉が述べられ、代表者の举杯とともに乾杯しました。その後は皇室の方が私たちの中へ溶け込むように入られお話をされる姿には感激いたしました。私は皇太子殿下とお話をさせていただきました。この6月2日に愛知県で開催される第70回全国植樹祭に天皇皇后両陛下にご訪問していただく予定ですが、新天皇となられてから初めて愛知県へ足をお運びになられるので、県民が楽しみにお待ち申し上げていることを愛知県町村会長としてご報告しました。殿下は存じているご様子で、我が国の植樹環境の大切さをお話された後、「参りますのでよろしく」と仰ってくださいました。秋篠宮殿下ご夫妻と、眞子様、佳子様も笑顔で皆さんと歓談されていました。

平成30年間の各界功績者の名士が多く招待されていましたが、高校の先輩で前経団連会長の榊原定征氏もお見えになり、声を掛けてくださいました。やはり同郷の方と東京の栄えある席で出会えるのは大変うれしいものです。この間、紅茶、ビールなどのドリンクや、サンドイッチ、クッキーなどの軽食が用意されていましたが、皆さん控えていらっしゃるようでした。

トライアングルの音が響き渡り、両陛下と各皇族殿下の退出を知らせます。拍手でお見送りしていると、後方から「万歳」の声上がり、全員で唱和する中をご退出なされました。「ごろごろ」と大襖が閉じられ御茶会の終了となりました。この間40分ほどでしたが、貴重な経験をさせていただき、身に余る光栄でした。

私たちは北車寄せへ誘導され、そこで賜物をいただいて乗車し、全国町村会館へ向かいました。

ホテルでモーニングコートを脱いだ時は、さすがに疲れが出ました。朝から立ち詰めであるうえ緊張の連続でしたので、着替えを済ます前に温かいコーヒーを飲みながら椅子に腰かけた時、「ホット」した至福のひと時が持てました。

皆さんのおかげでこのたび宮中へ招待を受けることができました。感謝申し上げます、宮中御茶会のご報告とさせていただきます。

皆さんののおかげでこのたび宮中へ招待を受けることができました。感謝申し上げます、宮中御茶会のご報告とさせていただきます。

皆さんののおかげでこのたび宮中へ招待を受けることができました。感謝申し上げます、宮中御茶会のご報告とさせていただきます。

p. s.

えっ、気にかかるのは賜物は何かですか？

賜物は、ボンボニエールに入った金平糖でした。



▲ ボンボニエールに入った金平糖